

3 . 里山と教育・学習分科会

代表：上善 峰男

「里やまは人づくりの場」

野外体験 1

「里やま散策 野草調理と講演」

千葉市立みつわ台北小学校 4月29日(緑の日) 参加 105名

- ・ 講師 :小平哲夫 (千葉県森林研究センター次長)
- 亀井尊 (千葉経済大学附属高等学校教諭)

野外体験 2

「生態園での自然教育実践」

千葉県立中央博物館生態園 5月7日(土) 参加 25名

- ・ 講師 :中村俊彦 (千葉県立中央博物館副館長)
- 林浩二 (千葉県立中央博物館生態学研究科)
- 亀井尊 (千葉経済大学附属高等学校教諭)
- 寺嶋嘉春 (森林文化教育研究会幹事)

シンポジウム

「自然体験はオマケじゃない」

千葉県立中央博物館講堂 5月7日(土) 参加 132名

- ・ 里山と環境教育の意義 :大槻幸一郎 (千葉県前副知事)
- ・ 自然体験はオマケでない理由 :
 中村俊彦 (千葉県立中央博物館副館長)
- ・ 里山は人づくりの場 :筒井迪夫 (東京大学名誉教授)
- ・ パネリスト : 亀井尊(千葉経済大学付属高等学校教諭)
- 中村くに子 (たいよう保育園園長)
- 浅野誠 (千葉県立精神科医療センター長)
- 湯上昇 (森林インストラクター)
- ・ 総司会 : 鈴木敦 (NPOみどりのネットワーク千葉)

オカリナとギター演奏 : 山口利夫ほか
わらべうた : なぎさ保育園,
 たいよう保育園の園児のみなさん



・ 自然体験はおまけじゃない」シンポ ジュウム



なぎさ保育園 たいよう保育園の園児による
「わらべうた」でシンポの会場が和む

3 まとめ :里やま問題解決のキーワードは教育にあり!

現状

- ・物が豊かな社会になった半面 ,人の心の問題が深刻化
- ・子どものキレル・引きこもり ,少年犯罪が増加 .
- ・子どもの遊びは「家の中でのテレビ・ファミコン」が増加し「里やま・自然体験」が減少 .

結論

- ・ 基層文化の根を腐らせてはならない .里やまの疲弊は都市の凋落につながる .
- ・里やまでの自然体験は人として的大脑をつくる .
- ・自然体験は子どもたちの感性を磨き ,教育 (生きる力)の原点オマケではない .
- ・ 子どもの遊び・自然体験の「時間・空間・仲間」の三間の確保は大人の責任

課題

- ・ 学校教育における総合学習の重要性の正しい認識
- ・ 社会教育が子どもの自然体験をいかに支援するか
- ・ 社会の在り様を子どもの視点で考える

